

# 茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 61

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会  
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成30年7月23日<2018. 7. 23>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

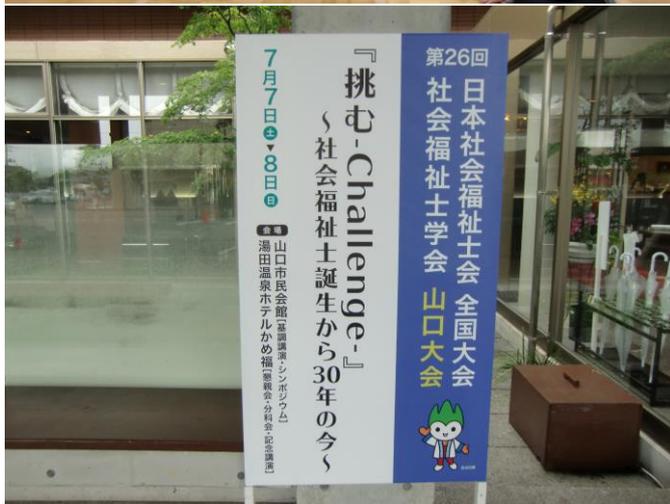
Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール [csw-iba@ibaraki.email.ne.jp](mailto:csw-iba@ibaraki.email.ne.jp)

## 来年は茨城大会！！

## 山口大会で全国の皆さんにPRしてきました！



### ★ご案内★

10月13日～14日

**第1回社会福祉士共通基盤研修  
を開催します！**

会場は「ピアスパーク下妻」です。  
詳細は後日お知らせいたしますので、皆様ぜひご参加ください！

山口大会で来年の茨城大会をPRしてきました…1～3

新役員挨拶（任期 2018. 5～2年間）…4～6

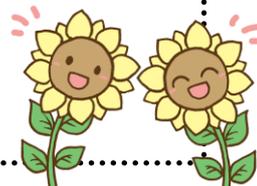
「福祉関係者のための成年後見制度活用講座」に参加して…7

会員の声「人間の人生を支援していく仕事として」…8

ブロック活動報告…9～13

（県北ブロック、県央ブロック、県南ブロック、  
県西ブロック、鹿行ブロック）

茨城大会関係のご案内、編集後記・・・12



# 第26回 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 山口大会



実行委員で前日準備の視察&お手伝い



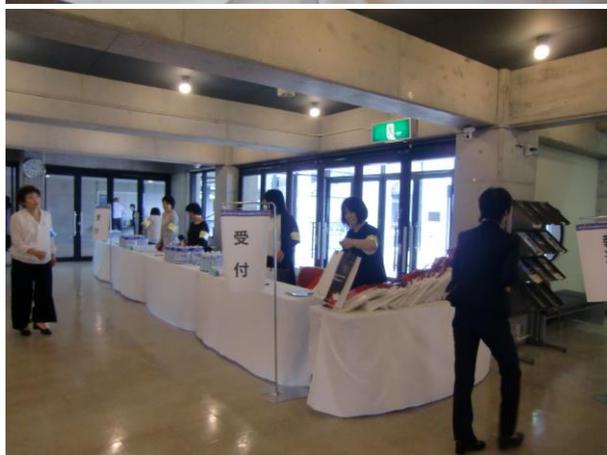
茨城大会のチラシも配布資料に



ハッスル黄門モスタンバイOK!



茨城大会PRブースも準備万端



間もなく受付開始



物販コーナー



いよいよ開会



懇親会は懇談会で乾杯



茨城のお菓子も大好評でした！



PR動画で茨城の魅力をアピール！



地元の皆さんの踊りの披露



山口県の会長へ茨城のメロンを贈呈



2日目は分科会



分科会の様子



記念講演は獺祭で有名な旭酒造会長



引き継ぎ式、来年は茨城です！

7月7日～8日に開催された山口大会はちょうど西日本の豪雨に見舞われ、大変な判断であったと思います。準備どおりにはいかずその場その場での対応が求められる中、山口県社会福祉士会の皆さまにおかれましては大変お疲れ様でした。そして交通事情が悪い中参加された皆さまも大変お疲れ様でした。

来年は茨城大会、私たちが全国の皆さまをおもてなしする番です。大会の成功のためには準備段階から多くの皆さまのご協力が必要です。47年に1度の機会ですからぜひ準備・運営にご参加をお願いいたします。

# 新役員挨拶

今期は日本社会福祉士会社会福祉士学会・全国大会を来年に控え、その大会に向けて尽力すべく理事として立候補し、承認をいただき、引き続き、会長職を拝命することとなりました。来年度の大会を開催するにあたっては、会員の皆さん一人一人のお力を借り、その力を結集していくことが必要となります。そして、一人でも多く本会の会員になっていただくことも必要です。その意味でも、組織率の向上は急務の課題です。そのためには、会の魅力が見える化され、知ってもらうことで、一人でも多くの方に会員になっていただくこと。会活動を行うことで、会員同士のつながりが生まれ、活動の中で自分の社会福祉士としての立ち位置を確認し、より専門性が高められる・・・そんな連鎖が生まれるような会にしていきたいと思っています。

社会福祉士会は何もしてくれないと嘆いているのではなく、会員として自分の持ち味をいかして、活動に積極的に参加してください。それをうけとめていけるよう理事一同、職務を遂行していく所存です。だれのために、なんのために、社会福祉士として仕事をしていくのか。そして、組織や地域の中で社会福祉士としての存在意義を示せるか・・・それを県民の皆さんに認識してもらうことが大変重要な時期でもあります。ともに頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

理事・会長 竹之内 章代

つくば国際大学の椎名清和です。これから2年間、理事および副会長を務めてまいります。会活動は皆さまのお力添えがなければ成り立ちませんので、よろしくお願いいたします。社会福祉士という専門職として、我々はどのような自分を目指せばよいのでしょうか。日本一の清掃人とも呼ばれる新津春子さんは、「目標を持って、日々努力し、どんな仕事でも心を込めることができる人が、プロフェッショナルだと思います」と言っています。異分野からもおおいに学び、当たり前前の日常にこそ心を込められる専門職を目指しましょう。そのために大事なのは、「やらなければならない」だと思います。

理事・副会長 椎名 清和

昨年度に引き続き、副会長を拝命いたしました千葉と申します。現在鹿嶋市だいで地域包括支援センターで社会福祉士として勤務しております。今年度は来年6月に開催される日本社会福祉士会国大会に向けての準備期間になります。充実した大会となるように、会員皆さまのご協力が不可欠です。多くの会員が協同し連携しあいながら、茨城県社会福祉会が「チーム」となり盛り上げていきましょう。また運営ボランティアも不足しております。有資格者でまだ会にご登録をされていない方への、「入会のご案内やボランティア協力」も宜しくお願い申し上げます。

理事・副会長 千葉 剛

前期に引き続き、理事及び事務局長をさせていただくこととなりました。来年開催される日本社会福祉士会全国大会茨城大会の準備が始まっています。今後は、より多くの会員の皆様方の協力をいただきながら、茨城県社会福祉士会が「チーム茨城」として一丸となって、「茨城に来てよかった！」と言われる大会にしたいと思っています。さらに、日本社会福祉士会からの事務移行により実施しなければならないことも増大しており、その対応もあります。こうした状況を乗り切るために、微力ながら貢献していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

理事・事務局長 小森 弘道

今回初めて理事を務めさせていただくこととなりました石塚です。来年6月に開催される全国大会は、会のことを多くの方に知っていただく大切な機会であり、より成熟した組織になるためのきっかけになるのではないかと考えています。会員同士はもちろん新しい人々との縁をつくり、これまでよりも多く学び合い、強く支え合える会を目指していきたいと思っています。微力ながら精いっぱい頑張っていきたいと思っておりますので、2年間どうぞよろしくお願いいたします。

理事 石塚 真由美



今回、理事に立候補いたしました社会福祉法人ゆっころ相談支援専門員の猪瀬と申します。広報事業部担当させていただくことになりました。大変不慣れではございますので、先輩の理事の方々のご指導ご協力をいただきながら、微力ではございますが頑張ります。来年6月に日本社会福祉士会全国大会が茨城県で開催されます。大会を皆さんで盛り上げ一丸となって成功させたいと思っております。

理事 猪瀬 厚



二期目の理事を務めさせていただくことになりました。社会福祉士が活動しているフィールドは極めて多様になっており、また、職場においても必ずしも多くの社会福祉士が配置されているわけではない状況もあると思います。自分のフィールド以外の分野で活躍する社会福祉士との出会いや、職場内だけでは難しいスーパーバイズ等、社会福祉士会の果たすべき役割は大きなものと思います。皆さんの拠りどころになれる社会福祉士会と一緒につくっていかねばと思います。よろしくお願いいたします。

理事 上田 和寿



今回の役員改選で、2期目となります鹿志村と申します。組織強化事業部を担当させていただきます。会の発足当初は、会員加入率が30%台であったのが、昨今17%台となっております。来年6月に開催する日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会茨城大会では、会員の加入率増加を図り、県内の会員で盛大に盛り上げてゆきたいと思っております。未加入のお仲間がいましたら、会員登録を勧めいただき、ともに茨城大会を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

理事 鹿志村 武史



初めて理事となります加藤です。福祉制度が目まぐるしく変化し、様々な分野で社会福祉士への期待が高まっている中で、行政職としての経験を活かし茨城県社会福祉士会の活動にお役に立てればと考えております。また、来年の全国大会に向け、県内で活躍している社会福祉士の方々との交流や、福祉・医療等の専門職の皆様にも、社会福祉士会の活動を理解していただけるよう、微力ですが理事として務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

理事 加藤 史子



今期より理事を務めさせていただくことになりました県南ブロックに所属しております小須田真紀と申します。真紀と書きますが、読みは「まさのり」です。下妻市役所に勤務し、現在は障害福祉に関する業務に携わっており、障害福祉サービスの支給や障害者虐待対応、差別解消法に関する相談などを担当しております。微力ではありますが、来年行われます全国大会茨城大会や各種活動に貢献していく所存です。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

理事 小須田 真紀



初めて理事を務めさせていただきます酒寄之枝と申します。水戸市の委託包括・水戸市北部高齢者支援センターに勤務しております。会で催される様々な研修での学び、そこで出会う仲間たちとの交流が、複雑なケースに対応する時、大きな力となっています。来年は全国大会が茨城で開催されます。参加して下さる方々に「茨城って良いところだな」と思っていただけのように、全ての会員の皆さんと大会を盛り上げていきたいと考えています。茨城県社会福祉士会のチカラを全国へ届けましょう。

理事 酒寄 之枝



前期に引き続き、理事を務めさせていただくことになりました滝口と申します。ここ数年の間に生涯研修制度の見直し、そして認定社会福祉士の取得を希望される会員も増えており、社会福祉士としての環境は大きく変わりました。研修担当としてその役割の大きさを認識する中、微力ではありますが会員の皆様のために、実践で役に立つ研修の機会を設けられるよう努力して参りたいと思っております。これからも皆さまのご指導をどうぞよろしくお願いいたします。

理事 滝口 康子





前期に引き続き理事を務めさせて頂くことになりました。広報事業部担当として微力ながら貢献できるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。来年開催の茨城での全国大会に向け既に準備が始まっています。大会の準備・運営は会員の横のつながりを広げ深めるにも良い機会であり、準備段階からぜひ積極的にご参加いただけるようお願いしたいと思います。全国の皆様に「行きたい!」「来て良かった!」と思っただけできるよう一緒に茨城大会をつくり盛り上げていきましょう。

理事 中山 優子



2期目の理事を拝命しました石岡市出身・つくば市在住の村上義孝と申します。あいりレーつくばという単独型短期入所施設を運営して13年目、これまで管理者・生活相談員として主に高齢者介護現場に携わってきました。現在は、筑西市の細谷高等専修学校のSSWと福祉専攻の講師、JFSWハンセン病委員会ハート相談センターの相談員、千葉県教育委員会のSSWをしております。来年の全国大会は、つくば国際会議場での開催となります。ご当地つくば市民として、成功に向けて全力を尽くします。

理事 村上 義孝



引き続き理事を務めさせて頂きます吉原と申します。古河市役所の障がい福祉課に勤務しております。来年6月には社会福祉士学会の茨城大会が開催されます。実りの多い大会にするため、微力ではございますが、尽力させて頂きたいと思っております。また、これからの時期は、大会成功のため、非常に重要な時期となりますので、会員の皆さまにおかれましても、ご協力のほど、よろしくお願い致します。研修事業部も担当させて頂き、会員の皆さまの研鑽にも尽力して参りますので、ぜひ研修にもご参加ください。

理事 吉原 徹



役職	氏名	ブロック	所 属
会長	竹之内 章代	県北	東北福祉大学 総合福祉学部 准教授/NPO 法人 スペース空 理事長
副会長	椎名 清和	県南	つくば国際大学 産業社会学部 社会福祉学科 准教授
副会長	千葉 剛	鹿行	鹿嶋市だいでう地域包括支援センター
事務局長	小森 弘道	県央	こもり社会福祉士事務所
理事	石塚 真由美	県西	結城市役所
理事	猪瀬 厚	県南	社会福祉法人 ゆっころ
理事	上田 和寿	県南	土浦市社会福祉協議会 地域包括支援センターうらら
理事	鹿志村 武史	県央	ひたちなか市社会福祉協議会 介護福祉課
理事	加藤 史子	県南	土浦市役所
理事	小須田 真紀	県南	下妻市役所
理事	酒寄 之枝	県央	医療法人社団協栄会 水戸市北部高齢者支援センター
理事	滝口 康子	県央	社会福祉法人 ひだまり会
理事	中山 優子	県南	つくばみらい市社会福祉協議会 つくばみらい市地域包括支援センター
理事	村上 義孝	県南	(株)エデュース (ショートステイあいりレーつくば 他) 代表取締役
理事	吉原 徹	県西	古河市役所



# 「2018年度 福祉関係者のための成年後見制度活用講座」に参加して



県北ブロック 関根 浩子

4月14日（土）・15日（日）の2日間にわたり、日立市福祉プラザで行われた、「福祉関係者のための成年後見制度活用講座」を受講しました。

初日は24名、2日目は26名の受講者の方とともに、小雨模様の肌寒いような、蒸すような、何とも言い難い天候の中、2日間を過ごしました。

今回の受講動機は、勤務する事業所で何人かの被後見人の方がいること、また申し立てをしていただきたいような利用者さんもいることから、実践を確認したいと思い受講しました。

講義1では、竹之内会長から「福祉サービス利用と成年後見」についての講義がありました。その中で、成年後見制度の理念、国連障害者権利条約に定める『意思決定支援』と『成年後見制度』との矛盾について、成年後見制度利用促進委員会意見（平成29年1月）の紹介等、興味を惹かれる内容でした。

講義2は、「成年後見制度の概要」を水戸家庭裁判所主任書記官の荒川晃久先生から、お話いただきました。特に、成年後見人による郵便物等の管理について、成年被後見人の死亡後の成年後見人の権限について等、言われなければ気づかない、しかし大事な内容を教えていただきました。

講義3は、県士会の大類勝也先生から「日常生活自立支援事業と成年後見制度」についての講義がありました。日常生活自立支援事業の特徴、成年後見制度との異なる点をわかりやすく説明していただきました。日常生活自立支援事業と成年後見制度は、福祉サービスを利用する方たちを支える、両輪であることを再確認しました。

講義4は、茨城県弁護士会の小沼典彦先生から「成年後見人の職務」の講義でした。後見活動をする中で、自分を守ることも大事であり、そのために保険に加入したり、裁判所への問い合わせをこまめに行っているとのお話がありました。また、市民後見や法人後見の課題についてもお話がありました。

最後の講義5では、リーガルサポート茨城支部・宮部正樹先生からの「法定後見などの申し立て実務」についての講義でした。申し立ての際に必要な書類や費用のこと、成年後見人等の報酬額の目安についてなど、すぐにでも申し立てができそうな内容でした。それにしても法律関係の書類に出てくる文言は、非日常だなと感じたのは、私だけでしょうか。

この研修を通し、事業所で支援をするだけの職員ではなく、利用者さんの全体像を確認しながら、後見制度の仕組みを説明し、利用を促すことのできる職員にならなければならないとともに、そういった職員を育成しなければならない、と痛感しました。

成年後見制度は、被後見人の財産を守り、だれもが同じ福祉サービスを利用できるための手段であることを深く理解することができた2日間でした。

講師の先生方、県士会の担当の方々に感謝申し上げます。



## 人間の人生を支援していく仕事として

青嵐荘養護老人ホーム 寺門 美弥

皆さま、こんにちは。今回、このような機会をいただきましたので、少し私の日々思うことを書いてみたいと思います。

私は、社会福祉法人芳香会へ入職した時は老人保健施設の支援相談員でしたが、現在は特別養護老人ホームで生活相談員として勤務しております。

2施設での相談員としてこれまで多くのご利用者やご家族への支援に携わらせていただいておりますが、対人援助の難しさや自分自身の知識、力量の至らなさに直面し、専門職として日々努力していかなければならないことを強く感じています。

特に特別養護老人ホームの入所を希望されるご家族からのご相談を受ける時、ご本人の心身状態や生活環境、生活に対する思いであったり、ご家族の支援の可能性(実際の介護や金銭面の経済的支援等)、介護保険や諸制度のサービスの利用にて自宅での生活継続の可能性の有無の検討と、様々な角度から現状を確認していきますが、その際に「ご本人の大事な人生の一部をどのように望まれる形をとって支援できるのか」、また「終末期を経て最期をどのように迎えられるのか」、人間の人生を選択する重責を担っていることを日々実感しております。

ご本人の思いに沿った道筋で支援できるのが一番良いことではありますが、生活環境や家族の状況、地域との関係性等々で思い通りにできない事もあり、数々の対応を行っていくなかで、選択肢を考えていく中で迷いを生じることも正直ありますが、その時に自分自身を支えてくれていることが2つあります。

1つは、私が介護福祉士の実習でお会いした高齢者の方が「もっと私の話を聴いてほしい。」と泣きながら話してこられたことであり、学生の私は「もっとご本人の話を真摯に聴き、その思いに応えられる専門職になりたい」と強く思い、その思いに応えられる専門職が何かを考え社会福祉士を目指すことを選びました。2つ目として、社会福祉士を取得し現在まで仕事として取り組ませていただきながら、社会福祉士会が開催する研修へ参加し、その機会にお会いする会員の皆さんとの交流を通じて感じる「同じ志」を持ち、私と同じように迷いながらも社会福祉士として対象者を一番に考えた支援を考え、道を進まれていることであります。

これからも社会福祉士の仲間である皆さまに力をいただきながら、自分自身が社会福祉士として何をすべきなのか考え業務へ取り組んでいきたいと思っております。

## ★新規入会会員大募集中です★

職場やご友人に社会福祉士の資格をお持ちでまだ社会福祉士会に入会されていない方はいらっしゃいませんか？また、新たに社会福祉士国家試験に合格した方はいらっしゃいませんか？もし身近にそんな方がおりましたら、ぜひぜひ社会福祉士会への入会のお声かけをお願いいたします。

資格取得はスタートラインです。様々な研修に参加したり、懇親会でネットワークを広げたり、社会福祉士会で更に自分を磨いて行きましょう！相談できる仲間が増えるとお仕事をする上でとっても心強いですよ♪来年は全国大会の開催もありますので、ぜひ多くの方にご入会頂き、一緒に大会を盛り上げていきましょう！！

茨城県社会福祉士会事務局にも入会申込書を準備しております。お電話を頂くか、ホームページ (<http://www.csw-iba.org/>) にある入会申込書請求フォームから入会に必要な書類を請求できますので、大いにご活用くださいね。



# 県北ブロック便り

皆さん、ごきげんいかがですか？県北ブロック広報担当の石井です。

今回は誠に恐縮ではありますが、この期間中に定例会が開けませんでした。

会員間の都合がなかなかつかなくなっている事情もあるのですが、1回でも会が途絶えてしまうと、次回開催のきっかけが見い出せないところもあります。県北という地域事情(範囲が広い等)もあるのですが、また開催出来るように、皆様のお知恵を拝借したいところでもあります。

また、皆様にご報告が出来ますよう、定例会再開に向けて、努力していきたく存じます。今回は、これでお許し願いたく存じ上げます。



## 携帯電話やスマートフォン等を利用した連絡網への登録をお願いします！

郵送費等の低減と会員の皆様への情報提供の迅速化を目的とした連絡網システム（マ・メール）へのご登録をお願いいたします。

- ①迷惑メール防止機能をご利用の方は「mamail.jp」からのメールを受信できるようにご設定ください。
- ② [csw-ibaraki@mamail.jp](mailto:csw-ibaraki@mamail.jp) に空メールを送信してください。
- ③ 折り返し送られてきた「入会お礼メール」の本文末に記載されているリンクをクリックし、プロフィール入力画面にしてください。
- ④ 表示された画面でプロフィールを入力し、[登録]をクリックして登録完了です。

※登録は、一人につき一つのメールアドレスに限定して頂けるようお願いいたします。



## 茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくをお願いします！



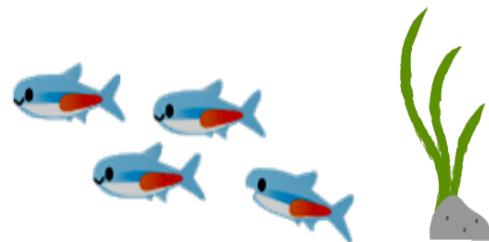
<https://www.facebook.com/csw.ibaraki>

各種お知らせや研修会の様子等を発信しています。  
皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします！

※「いいね！」などのご参加を頂くにはFacebookへの登録（無料）が必要となります。  
Facebookに登録しなくても閲覧は可能です。



# 県央ブロックだより



4月28日（土）午後6時30分から水戸市宮町一丁目の「わさびの花」で、県央ブロック総会及び懇親会を行いました。約20名の参加者の中には、初めて参加して下さった会員さんも多く、また県南ブロックから駆けつけて下さった会員さんもいました。

鹿志村会員の司会進行で、議事は速やかに進行。長くブロック長を務めて下さった松山信雄会員からの、お人柄そのままの温かい言葉そして会員へのエールに大きな拍手。もちろん拍手だけで終わるはずはなく、松山会員には引き続き顧問として、県央ブロックに参加いただくお約束をいただきました。松山会員ありがとうございます。

続いて、新たなブロック長及び、各部門の担当者を選任しました。新体制は以下の通りです。

顧問	松山信雄会員
ブロック長兼会計	横須賀優会員
研修担当	滝口康子会員
組織強化担当	荒川幸子会員・長田繁子会員
広報担当	酒寄之枝会員
ばあとなあ担当	小森弘道会員



横須賀新ブロック長を中心に、これからも県央ブロック、さらには来年の日本社会福祉士会「茨城大会」に向けて、茨城県社会福祉士会全体を盛り上げていきたいと思っております。引き続き、よろしくお祈りいたします。また、県央ブロック以外の会員さんもぜひ、県央ブロック企画の研修や懇親会等にご参加ください。お待ちしております。

## シェアの場 in 茨城に参加して

稲田 佐代子

平成30年3月11日県央ブロック研修会主催の研修が茨城県総合福祉会館にて開催されました。

当日は精神障害者家族会や福祉サービスの事業所で長らく精神保健福祉活動に関わってこられた方々から今までの歩み、これからの方向性についての思いをお話し頂きました。前半は6名の精神障害者関係の方々が今までの精神障害者の歴史やそれぞれの事業所の取り組みを発表下さいました。後半は3人の当事者の方々をお招きし、自分の思いを伝えて頂きました。その後は小グループに分かれて参加者全員が気になること、参加して思ったことなどを思い思いに語り合いました。

参加して思ったのは、それぞれが生き苦しさを抱えながらも懸命に暮らしているということでした。中でも当事者の方の真の心のこもった語りが忘れられません。

自分の心の障害がありながらも家庭生活（特に家族や地域の）を懸命に繋いでいる辛さと真摯な思いに感動しました。当事者の心はピュアで真っすぐシンプルでした。会場からは思わず貰い泣きであちこちから目頭を押さえる姿が見られました。

今回の研修で支援者や当事者の枠を超えて一人の生活者としての思いを共有できたと思います。このような場が数多く開催されることで障がい者といったくくりでなくマイノリティとして過ごされてきた方々の存在が再認識されるのではないかと考えます。この取り組みが重なる事で、1人1人を大切にできる社会への糸口になるのではないかと思います。シェアの場 IN 茨城が末永く続きますように願っています。そして、社会福祉に関わる皆さんが当事者と語り合い新たな発見をすることで、福祉の現場が温かい雰囲気にも包まれることを希望します。



# 県南ブロック活動報告

ホームページ ⇨ <http://ibanancsw.hp2.jp>

来年の日本社会福祉士会全国大会茨城大会まで1年を切りました！開催会場エリアである、県南ブロック（土浦・つくば・稲敷・つくばみらい・守谷・取手・牛久・龍ヶ崎・阿見・河内・利根・美浦）の会員の皆さま一緒に盛り上げていきましょう◎  
今年度に新規入会した方も、定例会にまだ参加したことがない方も、ぜひ参加してみてください♪社会福祉士の横のつながりを作り、学び合いをしましょう！

## 会員による勉強会を継続しています！

県南ブロック定例会では、会員による会員のための学び合いの時間として各会員が講師役となって自分の活動分野や興味のある分野の発表を行っています。

4月の定例会では、20名の出席があり、牛久市在住の西村会員に、生活クラブや牛久市民福祉の会など様々な活動をされてきたお話を伺いました。「あなたが主役、あなたは何かの専門家」という言葉が印象に残りました。

6月の定例会では、26名の出席があり、ゆう社会福祉士事務所の藤井会員に、放射線について講義して頂きました。実は放射線技師として働いてきた経験を持つ藤井会員に放射線について正しい知識を教わりました！

勉強会は次回以降も続きますので皆さんどうぞお楽しみに！！



## 県南ブロック役員が変わりました！

4月21日（土）の定例会議にて役員が決まりました。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

ブロック長	佐々木 伸 行
副ブロック長	加 藤 史 子 猪 瀬 厚
研修事業部長	角 田 純一郎 伊 藤 真理子
相談事業部長	小須田 真 紀 岡 野 和 弘
成年後見 ばあとなあ部長	藤 井 誠 有 井 るり子
広報事業部長	染 倉 有 希
組織強化部長	山 口 めぐみ 山 口 正 博
会計担当	上 田 和 寿
庶務担当	高 木 実 央 西 村 礼 子
監事	椎 名 清 和 佐々木 涼 子

任期：2018年4月～2020年3月

## ★毎年恒例！

### 会員交流バーベキューを開催します！

日時：8月18日（土） 18:00～20:00  
会場：牛久シャトー（バーベキューガーデン）  
牛久市中央3-20-1  
JR常磐線「牛久駅」東口徒歩8分  
参加費：3500円（食べ放題飲み放題）  
申込み：別紙の案内を御覧ください。

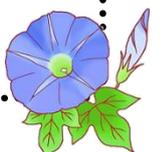
※県南ブロック以外の会員の方も大歓迎です！！  
美味しく楽しく交流しましょう♪

## ★今後のブロック定例会予定★

- 8月18日 会員交流バーベキュー
- 10月20日 谷口会員による勉強会
- 12月15日 羽成会員による勉強会
- 2月16日 佐々木会員による勉強会

● 必要に応じて議事が追加されます。  
● 詳細が決まり次第ホームページに掲載

● 会場：土浦市役所 2階研修室



# けんせいつうしん

あつという間に梅雨明け…。強い日差しに負けて、とろけてしまいそうですね。熱中症にはくれぐれもご注意を！さて今回のリレートークは、介護保険支援センター青嵐荘（総和）の永滝健一さんです♪

## リレートーク10

私は7年間のサラリーマンを経験した後、2000年4月の介護保険制度の開始と同時に福祉に携わるようになりました。福祉についての知識や資格が無かった為、働いているうちに「福祉について幅広く学びたい」と強く思うようになり職場の理解や協力のもと通信教育で社会福祉士を取得しました。

その後は、在宅介護支援センターの相談員を経て、居宅介護支援事業所で介護支援専門員として勤務しています。

居宅介護支援専門員として利用者の自立支援に向けたサービス提供を行いサービス事業所と連携を図ることが主たる業務であります。利用者の心身状況や生活環境等によっては、地域住民の方々や民生委員、行政、医療機関、相談支援専門員等と連携も図りながら支援することも必要となります。

2025年を目途に行われる地域包括ケアシステムの構築の実現に向けて私たち介護支援専門員も地域の一員として重要な役割を担うことになります。

これからは多職種との研修会や勉強会等に参加することで資質の向上を図り、地域から信頼される介護支援専門員となるよう努力していきたいと思っております。

※次回は、青嵐荘特別養護老人ホームの織原 大さんにバトンタッチします。

### <県西ブロック長が変わりました>

今年度から、新しい体制となりました！来年の全国大会開催に向けて、ブロック活動も強化していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

◎新ブロック長 いけざわ けんじ 池澤 健嗣さん（古河市役所）

### 定例会のお知らせ

7月1日（日）10:00から、多くの方にご参加いただき、今年度第1回目の定例会を開催しました。青山ゆずこさんの実体験に基づくお話は、笑いあり涙あり…「なるほど～」と感心する対応法等、気づきがたくさんありました。参加できなかった皆さんは、漫画「ばーちゃんがゴリラになっちゃった。」、ぜひ書店でお手にとってみてくださいね♪

さて、次回の定例会は…

**日程** 8月26日（日曜日）午前 10時から

**テーマ** 「民間団体によるDV・女性・子ども支援とは？」

**講師** 認定NPO法人サバイバルネット 代表 仲村 久代 さん

**場所** 県西生涯学習センター（予定）

ご参加お待ちしております！

# 鹿行ブロック情報

## 鹿行ブロック研修会「特別養子縁組について」を開催しました。

7月16日（月）海の日、神栖市保健・福社会館にて、鹿行ブロック研修会を開催しました。会員、非会員を含め12名の参加がありました。

潮来市の小沼雅義会員による特別養子縁組の講話は、住民票と戸籍の違いから、戸籍の歴史、普通養子縁組、特別養子縁組の違い、その手続きについてわかりやすくお話しいただきました。1時間ほどの時間でしたが内容の濃い研修となりました。

研修会終了後は情報交換会を兼ねた懇親会を開催しました。



【脱線も質問もたくさんでゆるい感じです】



【むずかしい話はしません】

今後も定期的に9, 12, 2月くらいを目安に研修会、交流会の開催を予定しています。開催が決まり次第、周知していきますので、非会員の方も誘ってご参加下さい。



### 【今後の鹿行ブロック活動について】

前任の小沼ブロック長の取り組んでこられた緩やかな関係のネットワークづくりを踏襲し、会員に限らずに社会福祉士同士がお互いの職域を理解して、お互いの専門性を高めるとともに、研鑽を深めていきたいと考えております。

今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（鹿行ブロック長 奥井雅史）

# 茨城大会の専用フェイスブックページを作成しました！！



<https://www.facebook.com/jacsw2019ibaraki/>



2019年6月1日～2日開催の『第27回 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 茨城大会』の専用ページを作成しました。

皆さま「いいね！」やフォローをお願いします！

全国の社会福祉士の皆さまにもどんどん広めてくださいね！！



## ★茨城大会ボランティア大募集中★

**2019年6月、第27回日本社会福祉士会全国大会が茨城で開催されます！！**

会員の皆さまには既にボランティア募集のチラシを郵送させて頂いていますが、まだまだ①準備ボランティア・②当日ボランティア共に大募集中です！！全国の皆様に参加したい！参加して良かった！と言ってもらえるよう力を合わせて大会を成功させましょう！あなたのご参加をお待ちしております♪

### (編集後記)

この度の西日本豪雨により被災された皆さまには謹んでお見舞い申し上げますと共に、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます。そして、被災された皆さまが1日でも早く日常を取り戻すことができますよう心より願っております。

奇しくもこの豪雨は山口大会に重なり起こりました。茨城でも2015年に鬼怒川が決壊し、常総市を中心に豪雨の被害を受けました。ここ数年は毎年のようにどこかしらで豪雨による洪水被害が出ているように感じます。日頃からの備えをしていくとともに、いざという時には早め早めの行動を心掛けていきたいものですね。

さて、茨城大会までいよいよ1年を切りました。まだまだ決めなければいけないことも、準備をしなければいけないことも沢山あります。準備・当日共にまだまだ人手が必要です。限られた期間の中で準備を進め、大会を成功させるためには会員の皆さまのご協力が不可欠です。皆さま積極的なボランティア参加をどうぞよろしくお願いいたします。

広報事業部

